



企画展

東京150年

| 企画展 | 「発掘された日本列島2018」

| 特集展示 | 「玉川上水」

発掘された 日本列島2018

6月2日(土)～7月22日(日)
常設展示室 5F企画展示室

みどころ

黄形台付土器
特別史跡 加曾利貝塚(千葉県千葉市)
縄文時代



みどころ

単環頭大刀 精緻
新貝塚古墳(福岡県みやこ町)
古墳時代



全国では、一年間で8000件近い発掘調査が行われています。この成果を紹介するため、文化庁が中心となって企画し、毎年全国を巡回して開催している展覧会が「発掘された日本列島」です。

「新発見考古速報のコーナー」では、特別史跡加曾利貝塚(千葉県)の幅3mに及ぶ縄文時代の貝層剥ぎ取りや、金井(千葉県)の遺跡(群馬県)の「甲を着た古墳人」発見状況再現レブリカなど17件546点を展示します。さらに、特集「装飾古墳を発掘する!」のコーナーでは、東日本大地震や熊本地震により装飾古墳が被災した事態を受けて、そ

の調査・保存の事例を紹介します。

また、江戸東京博物館のみで開催する地域展では、「東京郷土資料陳列館と考古学」と題し、1934年(昭和9)11月、行橋川(宮崎)記念公園の開園と同時にオープンした東京市の施設、東京郷土資料陳列館の概要と当時展示されていたと思われる考古資料や、同館の展示を担当した初代学芸員片倉信光を紹介いたします。これらの展示を通じて、全国そして東京から発見された貴重な文化財への理解を深めていただく機会としたいと思います。

(学芸員 松井かおる、津田敬子)

みどころ

東京郷土資料陳列館 展示室内写真
公益財団法人東京都公園協会所蔵

information

企画展「発掘された日本列島2018」

開館時間:9:30～17:30、土曜日は19:30まで。ただし7月20日(金)は21:00まで。

入館は閉館の30分前まで

休館日:6月4日・11日・18日・25日・7月2日、9日の月曜日と7月17日(火)

◎常設展観覧料でご覧いただけます。

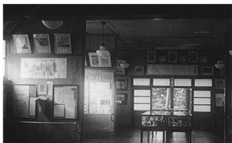
料金:一般600円、65歳以上300円、学生その他の料金は当館ホームページをご覧ください。

主催:文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協議会

協力:文化庁、東京都埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、

公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社

後援:全国史跡整備市町村協議会



企画展

東京150年

8月7日(火)～10月8日(月・祝)
常設展示室 5F企画展示室



みどころ

江戸幕府の政治的・経済的
中心地を再現した
修正市区改正庄及
品海築港略図
1865年(明治18)
資料番号:
01000260

1868年(慶応4)7月17日、江戸を東京と改める詔書が発せられ、東京府が設置されました。この時誕生した「東京」は今で150年の節目を迎えます。維新の混乱の中からスタートした東京の街は、震災や戦災に

よって幾度となく傷つきながらも、そこに暮らす多くの人々の尽力によって復興を遂げ、首都として発展を続けました。

本展では、東京という都市のはじまりの姿と、150年の間にそれがどのように変化していっ

たのかを、写真や映像、そしてそ

れぞれの時代に製作された地図などから展覧します。また、首都としてのふさわしい景観と機能を求め、幾度も立案されながら完全な実施には至らなかった過去の都市計画にも着目し、そこに描かれた「幻」の東京についても

紹介していきます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を間近に控え、さらなる変化が予想される東京。その歩みを知ること、また違った東京の未来が描けるかもしれません。

(学芸員 香沢博行)

日本機周辺の空撮写真
絵巻書(大東家絵巻書
コレクション)
1922年(大正11)頃
資料番号:85200875

みどころ

information

企画展「東京150年」

開館時間:9:30～17:30、土曜日19:30まで。
ただし、8月10日・17日・24日・31日の金曜日は21:00まで。
入館は開館の30分前まで。
休館日:8月20日、27日、9月3日の月曜日と9月25日(火)
※常設展観覧料でご覧いただけます(※10月1日(月)は無料)。
料金:一般600円、65歳以上300円、学生その他の料金は当館ホームページをご覧ください。
主催:東京都、東京都江戸東京博物館

えどはくカルチャー 企画展関連講座

① 写真で見る幕末～明治初期の江戸東京

講師:金行信輔(都市史研究者)
日時:8月10日(金) 申込締切:7月25日(水)

② 写真で見る東京の災害と復興

講師:香沢博行(学芸員)
日時:8月24日(金) 申込締切:8月8日(水)

時間:14:00～15:30
会場:墨田区みどりコミュニティセンター 4階多目的ホール
(東京都墨田区錦3-7-3)

※ 往復はがきによる事前申込制となります。応募方法や受講料など詳細は、当館ホームページ、および館内配布チラシなどでご確認ください。
<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>



特集展示「玉川上水」

8月28日(火)～9月24日(月・祝)
5階常設展示室「玉川上水とその流域」コーナー



5階常設展示室「玉川上水とその流域」コーナー

2018年(平成30)9月、国際水協会(IWA)世界会議・展示会が東京で開催されます。当館では、この会議・展示会の開催にあわせ、常設展の「玉川上水とその流域」コーナーの展示を拡大し、江戸上水」をより詳しく紹介します。

多摩川の水を江戸市中に取り入れた玉川上水は、武蔵野台地の地表を約43km流れたのち、地中に張り巡らされた木樋などを通して、江戸の人々に水を供給しました。すべて人力で掘削した完全な人工河川であり、少ない高低差にもかかわらず、安定した水流を確保した玉川上水は、江戸前期の高い技術をも語ります。人々の暮らしに潤いをもたらした江戸の上水に迫ります。

(学芸員 春木 晶子)



名所江戸百景 玉川堤の花 歌川広重画
1856年(安政3) 資料番号:83200042

TOPICS 1

「常設展示室
360度パノラマ
ビュー」公開!

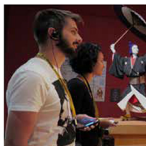
「常設展示室360度パノラマビュー」とは、常設展示室内を自由に360度見渡すことができる映像コンテンツです。当館ホームページで4月から公開をしています。パソコンやスマートフォンから、当館の常設展示室の様子を「覗きただけ」です。

通常の見学では目にする事ができない「神田明神山車(模型)の上部や、「两国橋西詰(模型)」の内部など、その場にいるかのような臨場感で映像をお楽しみいただけます。バーチャルな世界の江戸東京博物館常設展示室をご覧ください。



模型の細部まで見ることが出来ます
(模型「三井越後屋江戸本店」)

※「常設展示室360度パノラマビュー」の詳細は
当館ホームページをご覧ください。
[https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/
p-exhibition/](https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/p-exhibition/)



レシーバーは小さく軽く、操作も簡単です

常設展示室では、イヤホンレシーバーで常設展示の解説を音声で聞いていただくサービスを行っています。これまで日本語、英語、中国語(簡体字)、韓国語の4言語で提供してきましたが、今春からさらに中国語(繁体字)、フランス語、スペイン語、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、タイ語の7言語を加え、あわせて11言語となりました。

6階常設展示室入口付近の「音声ガイド貸出カウンター」にてご利用していますので、ご利用ください。

TOPICS 2

音声ガイド
今春から
11言語に!

この4月に、視覚に障害のあるお客様にもご利用いただける「点字付き案内板」を常設展示室内に設置しました。ひとつは「常設展示室案内図(常設展示室の平面図)」を6階日本橋の手前に、もうひとつは「体験住宅見取図(体験住宅の間取図)」を5階ミュージアムラボの体験住宅前に置いています。



常設展示室の平面図

「体験住宅」の間取図

TOPICS 3

点字付き案内板
「さわれる地図」が
常設展示室に!



5階常設展示室「町のくらし」コーナー
体験模型「す」の繻



右:「す」の繻の雛型の兜形部分
上:同模型の高麗部分



体験模型でおなじみの「す」組の繻の「さわれる模型」が完成しました。繻の頭部分(兜形)は、台に置いて「さわれる」ようになっていきます(写真:右)。高麗部分は、体験模型は柔らかい革製ですが「さわれる模型」では本物と同じく硬い感触のものです(写真:中央)。今後、催し物などで、体験していただく予定ですので、楽しみに!

TOPICS 4

新しく
「さわれる模型」が
完成!



価格:1,021円(税込)
※中国語版の価格となります。

常設展示の解説をまとめた「常設展示総合図録 中国語版(簡体字)」の販売を開始しました。「常設展示総合図録」は、日本語、英語、中国語版(簡体字)の3種類となります。この図録は、主に常設展示をより深く理解していただける内容となっています。

1階・5階のミュージアムショップで販売しているほか、7階図書室でもご覧いただけます。ぜひお手にとつてご覧ください。

TOPICS 5

「常設展示
総合図録」の
中国語版
(簡体字)が完成!

上野停車場から上野駅へ

上野とその周辺は、江戸時代から花見の名所として庶民に親しまれていたが、現在でも博物館、美術館、動物園など多くの施設が集まる人気のエリアである。

「東京名所 上野停車場之真景」小林敬英 画
1890年(明治23) 資料番号:91222011~13



私鉄として設立された日本鉄道会社は、政府から借り受けた資金をもとに鉄道の敷設工事に着手した。まずは上野〜熊谷間の工事が進められ、1883年(明治16)7月28日、上野停車場が開業した。その敷地は、もともと寛永寺子院の跡地であった。

午前6時に熊谷行きの一審列車が出発。上野〜熊谷間、61.2kmを2時間24分かけて走ったという。同日に沿線の王子、浦和、上尾、鴻巣の4停車場が開業した。当時、熊谷方面から上野に運ばれる荷物は、米や木材のほか生糸が大半を占め、貨車一両の貸し切りもあったという。翌年、1884年(明治17)5月1日には、高崎まで延伸し、上野〜高崎間が開通となった。当時、1日3往復していた。

上野停車場の駅舎は、1885年(明治18)7月に竣工した。煉瓦造二階建て瓦葺、乗降場(ホーム)は1本であった。洋風の駅舎は、人々の注目を集め、東京名所として錦絵にも多く描かれている。しかし、この駅舎は、1923年(大正12)の関東大震災で焼失した。

現在のの上野駅の駅舎は、1932年(昭和7)に竣工した。鉄骨鉄筋コンクリート造二階(部三階)地下二階である。鉄とガラスとコンクリートを素材とした直線的なデザインと縦

「関東大震災前の上野駅」

出典:『上野駅100年史』1983年(昭和58) 日本国有鉄道 発行



現在の上野駅 筆者撮影

長窓の配置が印象的なファサードがある。乗降客の動線を考えた合理的な間取りは当時の先進事例であったという。

駅舎といえば、重要文化財に指定された東京駅が著名であるが、上野駅も独特の存在感を發揮している。

学芸員

早川典子・文



図書からお知らせ

「夏休み！こども歴史学習相談」コーナー

7月18日(水)～9月2日(日)

まもなく待ちに待った夏休み。自由研究や調べ学習はどうしようかと、頭を悩ませる方もいるのではないのでしょうか。7階の図書室では、今年も「夏休み！こども歴史学習相談」コーナーを開設します。「江戸城などお城のことについてしらべろ。」をはじめ、「徳川家康や徳川将軍家のことについてしらべろ。」武士の生活について

てしらべろ。」江戸のエコ・リサイクルについてしらべろ。」昔のくらしと生活道具についてしらべろ。」歌舞伎・浮世絵・落語など「江戸の芸術・文化についてしらべろ。」など、江戸東京の歴史や文化をテーマに、役立つ本を集めてご紹介いたします。何を調べたいかわからないという方には、テーマをさがすための本も取り揃えております。ぜひお気軽に図書室をご利用ください。



information

場所:7階図書室

開室時間:9:30～17:30

閲覧・複写請求受付時間:9:30～11:30/
13:00～16:30

※ 図書室の利用は無料です(複写は有料)。貸出は行っていません。

※ 質問者の代わりに調べる、解答することはできませんのでご了承ください。

バリアフリー関連

リードスピーカート ヒアリングループ(磁気ループ) 導入!



リードスピーカート画面

ぜひホームページ上の「読み上げる」ボタンを押してみてください。

また、1階総合案内に、聴覚障害の方の聞こえを支援する設備「ヒアリングループ」(磁気ループ)を設置しました。

こちらは補聴器、人工内耳をお使いの方が、周りの騒音・雑音に邪魔されず、目的の音声だけを正確に聞き取ることが出来ます。

この春から当館ホームページに、「リードスピーカート」という文字の読み上げソフトを導入しました。日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語に対応しています。「リードスピーカート」とはホームページの情報や音声で読み上げることで、高齢の方や視力の弱い方、目の疲れやすい方にも快適にご利用いただくことができます。



1階総合案内のヒアリングループ(磁気ループ)

改修工事についてのお知らせ

改修工事に伴い、1階の一部(特別展示室・会議室・学習室・ホール)が閉鎖中です。

金曜の夜は江戸博へ!

夏期特別夜間開館(サマーナイトミュージアム)を実施します

- ★ 2018年(平成30)7月20日から8月31日まで、金曜日は21:00まで開館します。※ 入館は20:30まで
- ★ 17:00からは常設展示室観覧料が学生無料!
(一般・65歳以上は2割引) ※要証明





東京海運橋第一国立銀行の全国 井近円の
市中一風の園
柳川地蔵 轟 永徳五郎 轟工
1876年(明治9)5月 資料番号:91210369-71

「東京150年 都市とたてもの、ひと」展

2018年(平成30)7月24日(火)～
2019年(平成31)1月20日(日)

東京誕生150年を記念し、江戸東京博物館本館と連動して実施する展覧会です。東京の様々な建造物を通して時代の変遷を紹介し、都市の発展や暮らしの変化を概観します。
あわせて、失われた建造物の特徴や魅力、現存する歴史的建造物の活用についての事例を取り上げ、都市東京の150年において建築が果たした役割を明らかにします。

展示内容予定

- 洋風建築がやってきた！煉瓦から建築家へ
- 都市の愉楽と住むの発見
- 関東大震災と復興、建築スタイルの乱舞、そして市井のモダンデザイン
- モータリズムと戦後復興！木造モダンから世界の舞台へ
- タワーと超高層、そして21世紀の建築表現

催しのご案内 夏期ふれあい体験教室

当日受付教室

- いずれも参加無料(ただし、常設展示室内で開催の教室は観覧券が必要)
- 変更・中止の場合、当館ホームページでお知らせします。
ご確認の上、お出かけください。
- 講師:ふれあいボランティア

● 藍染のてるてる坊主を作ろう

日時:7月7日(土)①13:00～13:20 ②13:25～13:45
③13:50～14:10(12:50より会場前で各回の整理券配布)
定員:各回20名、合計60名 対象:小学生以上

場所:3階江戸東京ひろば北側体幹所 ※雨天などによるひるばる閉鎖時は中止

● 和算パズル

日時:7月7日(土)、9月1日(土) 各日13:00～15:30(受付終了15:00)
対象:小4以上 場所:常設展示室5階ミュージアム・ラボ

● 反古紙で折る小物

日時:7月7日(土)、9月1日(土) 各日13:00～15:30(受付終了15:00)
対象:小学生以上 場所:常設展示室5階ミュージアム・ラボ

● 歌舞伎の囃子物を鳴らしてみよう

日時:7月21日(土)、8月4日(土)

各日①13:00～13:30 ②14:30～15:00

対象:幼児～一般

場所:常設展示室5階ミュージアム・ラボ

● ととききユカタ体験

日時:7月22日(日)、8月25日(土)

10:30～12:00(受付終了11:30)

定員:25名程度 対象:3歳以上

場所:常設展示室5階ミュージアム・ラボ



● 回転人形を作ろう

日時:7月28日(土)①13:30～14:00

②14:30～15:00(13:20より会場前で各回の整理券配布)

定員:各回8名、合計16名

※グループでご参加の場合、参加人数調整依頼の可能性あり

対象:小学生以上(ただし小3までは大人と一緒に)

場所:常設展示室5階ミュージアム・ラボ

● 手描き風鈴を作ろう

日時:7月29日(日) 10:30～12:00(10:20より会場前で整理券配布)

定員:20名 対象:小3以上

場所:常設展示室5階ミュージアム・ラボ

● 浮世絵摺り体験教室

日時:8月19日(日)①12:00～12:20 ②12:30～12:50 ③13:15～13:35

④13:45～14:05(11:50より会場前で各回の整理券配布)

定員:各回6名、合計24名

対象:小5以上

特別講師:松崎啓三郎(原簿)

場所:常設展示室5階ミュージアム・ラボ

● 万華鏡で遊ぼう

日時:9月15日(土) 10:30～12:00(10:20より会場前で整理券配布)

定員:15名

対象:幼児～一般(ただし幼児は大人と一緒に)

場所:常設展示室5階ミュージアム・ラボ

● 三越双六で遊ぼう!

日時:9月29日(土)①13:30～13:50

②13:50～14:10 ③14:10～14:30

定員:各回5名、合計15名

対象:幼児～一般(ただし幼児は大人と一緒に)

場所:常設展示室5階東京リーニングモダン東京コーナー



ミュージアムトーク

- 常設展示室の見どころを学芸員が解説します。
- 日時/毎週金曜日 16:00から
- 常設展示室5階の日本橋下までお集りください。所要時間は約30分です。

地域展「東京郷土資料陳列館と考古学、みどころ 7月6日、20日

文化都市江戸 7月13日、27日

江戸城と町割り 8月3日

企画展「東京150年、みどころ 8月17日、24日、9月28日

江戸の商業 8月10日

関東大震災 8月31日、9月7日

特集展示「玉川上水、みどころ 9月14日、21日

江戸東京博物館 NEWS Vol. 101

お問い合わせ 03-3626-9974(代表)

ホームページ <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

未鑑のご案内

JR総武線「高田駅」西口から徒歩3分
都営地下鉄大江戸線「高田駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口から徒歩1分
都バス銀27・銀28・付33系統 墨田区内循環バス南部ルート「都営高田駅(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

発行日 2018年(平成30)6月22日(金)

編集・発行 公益財団法人東京歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

〒130-0015 東京都墨田区福原1-4-1

制作・印刷 美術出版社 デザインセンター

表紙解説

上:「藤原中央新築号外図出」

左下:「日本橋本町の景況」

右下:「青橋山中にて」

1894～97年(明治27～30)

資料番号:85200894-907

藤太寺親房(ゆかりの公)の編纂による、明治時代の東京を撮った写真。左は多様な建築物を持った人物で、この時期には写真撮影が流行し、東京の各地へ行き、様々な建築物を写真に収めた。日本橋や銀座といった中心地だけでなく、東京府内にも広まっていた多摩地域などに足元を延ばしており、当時の東京の姿を包括的に見ることが出来る。

